



column 環境モデル都市飯田市のこれまでの取り組み

平成21年1月に全国13の環境モデル都市に認定された飯田市では、再生可能エネルギーの域産域消や環境と経済が好循環する持続可能な地域づくりを行なっています。

その1 おひさまとまりのエネルギーを最大限に利用

年間を通じて安定した日照時間と豊富な日射量に恵まれている飯田市では、太陽光発電の普及に力を入れており、全世帯の5%に太陽光発電が設置されています。また全国に先駆けて市民出資による初期投資0円型の太陽光市民共同発電事業に取り組んでいます。中部電力株式会社との共同でメガソーラーいさを運営し、地域内の約300世帯に電力を供給しています。また市域の8割以上が森林という特徴を生かし、地域で木質ペレットストーブを製造し、公共施設や温泉施設で活用しています。



ほっ湯アツパイルペレットストーブ



太陽光市民共同発電の施設

その2 環境と経済が好循環するまちづくりを目指して

地域のものづくりの技術を活かして防犯灯の製品開発を行い市内の防犯灯のLED化を進めています。また、地域の企業が中心となって環境ISOの取組を推進するため、地域ぐるみ環境ISO研究会を中心に、環境に配慮した企業活動や省エネ活動を積極的に展開しています。



防犯灯LED



地域ぐるみ環境ISO研究会

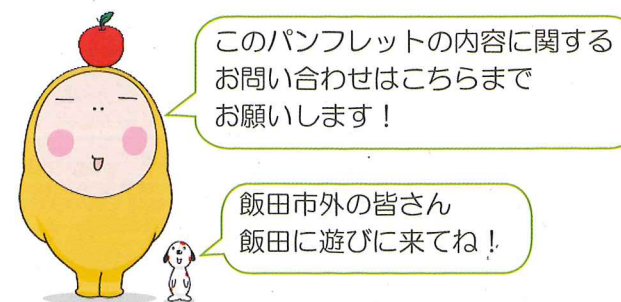
その3 ライフスタイルの低炭素化を目指して

中心市街地のりんご並木に建設したエコハウスを拠点に、エコライフコーディネーターによるライフスタイルの低炭素化に向けた様々な活動を行っています。また、電動バス「ブッチー」を運行し、環境にやさしい乗り物交通の普及に取り組んでいます。



丘のまち電動バス「ブッチー」

平成24年3月発行
発行：長野県飯田市
編集：地球温暖化対策課
住所：〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534
TEL：0265-22-4511 FAX：0265-22-4673
URL：<http://www.city.iida.lg.jp/>



リニア時代にふさわしい 環境モデル都市づくりロードマップ

～エネルギーの域産域消を目指して～



長野県 飯田市